



## 「課題研究における英語指導」を実施しました

4月26日（金）、5月10日（金）、17日（金）、24日（金）に、理数科3年生を対象に、佐賀大学 理工学部 根上武仁 先生、農学部 辻田忠志 先生、佐賀大学大学院の留学生の皆さん、本校A L Tによる、「課題研究における英語指導」を行いました。

前年度の2月から、生徒達は、「SSH 米国(グアム)海外研修」参加生徒による生徒自作教材等を参考にしながら、2年次の研究内容をもとに英語ポスターを作成してきました。生徒達は、まず、研究の内容を留学生の方々やA L Tに英語で説明しました。留学生の方々やA L Tから、科学英語の表現についてアドバイスをいただきました。



## 「英語による課題研究発表会」を開催しました

5月17日（金）に、理数科3年生による「英語による課題研究発表会」を実施しました。前年度の2月から、学校設定科目「SSH研究Ⅱ」及び「SSH研究Ⅲ」で、佐賀大学の先生方や大学院の留学生の方々やA L Tによるアドバイスのもと、英語ポスターの作成や発表準備に取り組みました。各班が研究活動の内容について、聴講者として参加した理数科2年生や来賓の先生方、留学生、県内外の学校の先生等に対して英語で説明しました。



発表会の閉会式で、来賓の先生方から以下のような講評をいただきました。

- 前回の発表会での課題について質問したところもよく検討して取り組んでいた。苦労しながらやることはいい経験だと思う。
- いくつかの発表の中で、これだけの実験結果ではこれだけのことしか言えないから、次はこういうことをやるべきだということがちゃんと課題として示されていた。それはとても大事なことだ。将来理科学の方面での研究では、きちんとした答えが予めある訳ではなくて、よりよい答えに向かって探究を繰り返していくからだ。
- サイエンスでもやはり英語力は大事だ。世界に出ていくために必ず必要なので、理数系には英語が必ず必要だ。こういう課題研究の発表の場で英語を使うと、いろいろな人とコミュニケーションが取れるということを実感できたと思う。こういった経験を糧にして今後も頑張っていってほしい。